

最先端の設備と経験豊富な技術力 プレス金型のエキスパート集団

自動車ボディ用のプレス金型製造メーカー。骨格部品に活用する高張力鋼板（超ハイテン材：SPC980）の量産金型を世界で初めて実現。硬くて丈夫だが、加工が難しいとされる素材の部品量産に向けたプレス金型の新技術を切り拓き、技術的優位性を確保している。金型の受注生産のみならず、培ったノウハウを活かしプレス工程そのものの構成も提案するなど総合力に長けた企業である。

●所在地 大阪府大東市新田本町12-6

●電話／FAX 072-874-3377／072-874-3839

●URL <http://www.uchidanet.co.jp>

●代表者 代表取締役社長 内田 祥嗣

●設立 1964年

●資本金 3,000万円

●従業員数 120人



自動車ボディ向け超ハイテン材の量産金型を世界で初めて実現

プレス金型のハイスpek素材である超ハイテン材（SPC980）の量産金型を世界で初めて実現した。硬くて丈夫であるが加工が難しい素材の金型設計と工程設計に大きな強みを持つ。1990年代初頭、他社に先駆けてハイテン材加工機器の大型設備投資を実施。その後、トップランナー（業界リーダー）としての地位を確立している。また、単なる下請け業務だけでなく、企画段階から顧客に対してコンサルや工程提案等を行う。その後、製品開発・生産を行うことで、高性能かつ信頼性の高い製品を供給している。



最先端設備による金型の生産

金型設計から調整、検品までの一貫体制構築による生産性向上

大型のトライプレス機を日本で最初に導入し、金型のトライプレスと調整作業を社内で一貫して対応できる体制を構築。3D CAD/CAMとそれを利用したシミュレーション技術の導入にもいち早く踏み切り、これまで培ったノウハウを駆使して、効率的な工程設計を可能にしている。さらに、完成品の検査システムも整備することで、設計からシミュレーション、工程検討、金型加工、調整、検品、出荷まで一連の工程を社内ですべて完結。完成度の高い製品を供給する生産性の高い一貫システムを構築している。



3D CAD設計による金型づくり

新卒採用と雇用延長によりスムーズな技能継承を実現

1990年代後半から継続的に新卒採用を繰り返し、平均年齢の若返りとバランスの取れた年齢構成を実現。ベテランの雇用延長にも取組み技能継承の体制を構築している。金型設計と製造プロセスを分業化することにより、学歴にとらわれず様々な人材が得意分野を活かして活躍できる場を提供。技術技能のプロフェッショナルとして誇りをもって働ける職場の構築に努めている。また、日本車生産拠点のグローバル展開に伴い、外国人材の活用によるグローバル対応力の強化にも取り組んでいる。



次代を担う人材へ金型技術を伝承